

水道料金の使いみち

原水である井戸水を揚水・送水する電気施設、配水池や水道管など、安全で安定した給水サービスのために、水源から蛇口までには多くの水道施設が活躍しています。

水源から浄水場などの各施設、そしてご家庭の蛇口をつないでいる水道管を例にとってみると、大室高原給水区域内に張り巡らされている水道管の延長は約73キロメートル。直線距離で、およそ大室高原から横浜市までの距離に相当します。

財政面については、水道料金を主な財源として運営される水道事業ですが、水道施設の整備、改良に要する経費が大きなウエイトを占めています。

みなさんからいただいた水道料金は、施設の整備、改良のための費用を中心として様々な用途で大切に使われています。